

7月19日と20日の2
 日間にわたって開催され
 た第45回星の降る里・芦別健
 夏まつり。両日とも晴天に恵ま
 れ、大勢の人でにぎわいまし
 た。まつりのハイライトを
 写真で振り返ります。

熱く優雅に

盛大に芦別健夏まつり

「健夏山笠 追い山」



初日の芦別健夏山笠「追い山」。今年も3本の山が
 出場し、沿道を埋めた観客からの熱い声援を受け
 ながら、市内を勇壮に駆け抜けました。このタイ
 ムレースを制したのは「栄流」（写真上）



子どもたちも「勢い水」を浴びて
 懸命の走り「北大黒流」（上）
 最後の力を振り絞る「緑幸流」（右）



◀今年も芦別中学校吹奏楽部の演
 奏がまつりの幕開けを告げました



芦別子供太鼓の演奏に盛ん
 な拍手が贈られました ▶



千人踊り

まつりのフィナーレを飾った「千人
 踊り」。市内の事業所や各団体に加
 え、今年には少年野球チームや中学生、
 高校生など計25団体、1126人が
 参加。そろいの浴衣姿や工夫をこら
 した仮装など、沿道に陣取った観客
 の目を楽しませました（写真は北日
 本自動車大学校）

富良野獅子舞と芦別獅子

ともに富山県砺波地方をルーツとしているのが縁で交流を深めて
 いる富良野獅子舞（左）と芦別獅子（右）が共演



■ トップアスリートによる第1弾バスケットボール教室を開催



市は今年度から日本のスポーツ界で活躍している「トップアスリート」を講師に招き、各種スポーツ教室を開催。その1回目として、「バスケットボール教室」が7月5日、市総合体育館で開催されました。

この日講師に招いたのは、レバンガ北海道の齋藤拓也コーチ=写真右端=と野口大介、西川貴之両選手の3人。

午前は小学生30人、午後からは中学、高校生合わせて50人が参加しました。

小学生対象の教室では、齋藤さんらがドリブルやパスなどバスケットボールの基本を指導。子どもたちは、「とても楽しかったです」と目を輝かせていました。今後9月には、女子柔道の五輪金メダリスト、上野雅恵さんを迎えて開催する予定です。

■ 青年団体「星に願いを」が上金剛山展望台で美化活動

7月6日、青年団体「星に願いを」(旧青年学園)のメンバーが、上金剛山展望台の美化活動を行いました。

同団体は、市内に在住または勤務する20歳から40歳の青年が芦別活性化につなげるための活動を行おう、と昨年10月に結成されたも

ので、現在24人が参加しています。

この日は、旭町町内会の上金剛山登山道の草刈り作業に合わせて行われ、メンバーのうち約10人が上金剛山展望台に集まり、東屋のペンキ塗り直しなど修繕や展望台の清掃を行いました。



■ 「愛のお返しを」テーマに芦高祭。雨の中アトラクション披露

第65回芦別高校学校祭が、7月12日、13日の2日間行われました。

今年のテーマは「LIFE∞ LOVE～愛ある日々を」。保護者や先生、地域の方々に支えられていることに感謝し、「愛のお返しを」の意味が込められています。

12日は市役所前でアトラク

ションが行われ、1年生から3年生まで全10クラスが、それぞれ工夫をこらして製作した衣装をまとうて歌や踊りを披露。開始直後から雨に見舞われましたが、雨雲を吹き飛ばせとばかりに熱演し、見守る市民らから盛大な拍手が贈られていました。



■ 本市など5市5町が定住自立圏形成協定に調印



清澤茂宏市長(中央)と前田康吉滝川市長(左)、善岡雅文砂川市長(右)

7月15日、中空知広域市町村圏組合に加盟する本市など5市5町による「定住自立圏形成協定」の合同調印式が滝川市内で行われました。

これは、都市圏への人口流出を食い止めるため、圏域の市町村が医療や福祉、公共施設の相互利用などの連携協力を深め、圏域全体の活性化を図ることを目的としています。

同構想では、滝川市と砂川市を中心市として、救急医療の維持確保対策や保育所広域入所事業など18項目の取組内容連携協定が盛り込まれました。

調印式には、清澤市長はじめ5市5町の市長、町長らが出席。それぞれ、協定書を取り交わしました。